

平成30年11月27日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後 3時00分
閉会 午後 4時35分

2 出席委員

田 中	教育長
関	教育長職務代理者
吉 岡	委 員
江 口	委 員
北 村	委 員

3 欠席委員

な し

4 出席事務局職員

山 本	教 育 部 長
和 田	次長兼総括指導主事
片 山	教育総務課長
土 岐	学校教育課長
大 西	社会教育課長
亀 井	社会教育課人権教育担当課長
平 田	学校給食センター所長
栗 林	図書館主幹
海老原	教育研究所長
加 藤	教育総務課総務係長

5 傍聴者

0名

6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

平成30年10月29日に開催した定例会の会議録及び11月8日に開催した臨時会の会議録について承認した。

（３）教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・総合教育会議が開催され市長と協議した。
- ・自治振興式典が挙行され市政功労者として、前社会教育委員会議議長宝積玄承氏が行政分野で、前市立東輝中学校校長神先宏彰氏が文化・スポーツ分野で表彰を受けられた。
また、安詳、大井、亀岡の各小学校ＰＴＡがそれぞれの学校へ寄付をされたことから感謝状が贈呈された。
- ・交通安全子ども自転車亀岡市大会が開催され、千代川小学校が優勝した。亀岡川東学園、亀岡小学校を含めた上位３校が府大会へ出場することとなった。
- ・ハーフマラソン実行委員会総会が開催された。箱根駅伝出場経験者の柏原竜二さんと廣瀬大貴さんをゲストランナーに、ミュージシャンの佐藤征史さんをゲストスターターに迎えて開催されることが発表された。
- ・人権福祉フェスティバル、市民文化祭、千歳町宝船祭や各地域等で文化祭などが催された。さわやか教室文化祭は、ガレリア亀岡で展示・舞台発表が行われた。
- ・曾我部小学校インターナショナルセーフスクールの再認証式が行われた。
前回までは教員主体であったが、今回は児童主体で取組み、けが等が減少したデータと分析して対策したことを示した点が高く評価された。
セーフコミュニティは市全体で取組み、再々認証を受けた。
- ・私立幼稚園ＰＴＡとの懇談会が行われ、市長とともにこん談した。
市立図書館大井分館の建物にエレベーターを設置してほしいとの要望があったが、教育委員会では対応できない事項として回答した。
- ・校園長会議を開催した。
- ・老人クラブ連合会の定期総会に参加した。会員の減少が生じており今後の運営が危惧されているとのことであった。
- ・部落解放同盟とのこん談会が行われ、教育に関わることとして、学力問題、職員研修、相談体制等についてこん談した。
- ・安詳小学校で研究発表が行われた。平成３０・３１年度の学力向上の研究指定を受けて算数科を中心に取組まれている。
- ・かめおか学びフェスタ、読書フェスティバル、コレージュ・ド・カメオカなどが様々な催しが実施され人気を博した。
- ・第２１回かめおか体操祭が開催され花園大学がゲスト出演された。

◎国・府等の関係

- ・京都府の予算要望を行い、空調整備、施設改修等について要望した。
- ・府市町村教育委員会研修会に参加した。
- ・府下駅伝競走大会、京都丹波ふれあいキッズ駅伝等が開催された。
- ・府立農芸高等学校農芸祭が行われたが、気象の影響を受け野菜の生育不足などによって他校から取寄せるなどの対応を取られた。

(4) 議 事

議案番号	件 名
第 1 3 号議案	亀岡市立小学校、中学校及び義務教育学校の教職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則の制定について

○第 1 3 号議案について教育部長が議案説明を行った。

- ・第 1 3 号議案は、働き方改革等の一つとして、出退勤システムを導入することとしている。その基礎となる教職員の勤務時間を校種の実情に応じて区分して定めるものであり、平成 3 1 年 1 月 1 日から施行することとしている。

○説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

委 員 中学校の終了時間だが、部活動を踏まえた実情はどうか。

事務局 部活動の終了時間は、季節によるが 1 7 時、あるいは 1 7 時 3 0 分と定めているのが現状である。

委 員 そこは今後の課題であるといえる。

教育長 小学校の休憩時間も課題と認識している。

今後、検討したい。

委 員 義務教育学校は、小学校と中学校の課程があるが同じ時間となっている。問題はないのか。

事務局 同一の学校内で異なる勤務時間を設定すると人事管理が困難となることから、学校の意見も踏まえ中学校（後期課程）に統一することで整理した。

委 員 支障はないということか

事務局 統一する方が適しているということである。

第 1 3 号議案について、原案どおり承認した。

(5) 報告事項

- ① 亀岡市立の小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令について
- ② 亀岡市立の小学校、中学校及び義務教育学校の副校長の専決等に関する規程の一部を改正する訓令について
- ③ 亀岡市の財政状況及び今後の見通しについて
- ④ 平成31年度予算編成方針について
- ⑤ 京都府中学校駅伝競走大会の結果について
- ⑥ 亀岡市小学生駅伝（持久走）大会の結果について
- ⑦ 京都丹波キッズふれあい駅伝の結果について
- ⑧ 小・中・義務教育学校いじめ防止フォーラムについて
- ⑨ 地域ふれあいサイエンスフェスタ2018について
- ⑩ サイエンスフレンズ学習クラブ（後期）の開催について
- ⑪ 平成31年1月教職員研修講座について

○教育長報告及び各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

＜ 亀岡市立の小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令について ＞

委 員 教職員の労務管理は教頭が行っているのか。

事務局 校長あるいは教頭が所管している。

委 員 時間外勤務の取扱はどうなっているのか。

出勤簿に時間の記載はあるのか。

事務局 時間の記載はしていない。教職員には、基本的にいわゆる超過勤務手当は支給されない。例えば、8時30分以前または、17時以降業務に従事している時間が時間外勤務に相当するもので、その管理につなげようとするものである。

教育長 修学旅行等一部を除き、時間外勤務に対する手当の支給はない。

委 員 時間外勤務の基準や上限は設けられているのか

教育長 国がその上限等を定めることとしている。

これまでも、長時間労働等になっている教職員は産業医等の面談を受けるなど対応をしており、より明確に把握しようとするものである。

委 員 システムで退勤の処理をしてからも学校に残ることは可能であるのか。

教育長 業務と業務外の区分を本人が判断することになる。同僚等とこん談する場合もあり、その場合は学校内にとどまることもある。

委 員 働き方の意識を変えていこうとすることが重要であり、システム等の活用で意識改革につなげていかないといけない。

委 員 休日、いわゆる土日に部活動等で出勤することがあると思うが、その場合はどうか。

教育長 もちろん勤務に含めている。部活動の場合等は手当の支給はしている。

委 員 その場合の管理はシステムで行うのか。

事務局 書面により把握し管理している。
そういったものも含めて把握・管理しやすいように従来の出勤簿の様式を活用することも含め学校と調整している。
長時間労働に相当する分も含めて集約の簡素化につなげたい。

委 員 カードの紛失に対する対応は。

事務局 届出を受け再発行することとしている。
万一、紛失したカードを取得された場合でも悪用されないよう名称や表示を工夫した。

< 亀岡市小学生駅伝（持久走）大会の結果について >

委 員 多数の児童が参加するたいへん良い取組だと思う。
継続実施をしてほしい。

教育長 チーム結成が困難となる学校も出てきている。今後検討を要すると考えている。

事務局 来年は第30回である。継続するよう努めたい。

< 小・中・義務教育学校いじめ防止フォーラムについて >

委 員 いじめ防止標語は誰が審査したのか。

事務局 教育長以下、教育委員会事務局で審査した。

< 地域ふれあいサイエンスフェスタ2018について >

教育長 サイエンスフェスタを開催する。ぜひ、ご参加いただきたい。

事務局 今回は、会場内で配置を変更している。2階に設けているブースもある。

(6) その他

- 文化資料館友の会サークル体験会について
- 女性集会の開催について

次回の定例会教育委員会は、12月25日に開催することとした。

(7) 閉会

- 教育長が閉会を宣言

以 上